



高砂青松ロータリークラブ

ロータリー：
変化をもたらす

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE
2017 - 18 年度国際ロータリーのテーマ

Rotary Club



クラブ創立40周年卓話

第8回 卓話者 柿木 國夫会員

平成30年5月2日(水)

私は5人兄弟の長男です。一番下とは13才離れています。

その頃、父親は病を患い、中学を卒業と同時に川崎車輛の下請の塗装会社に就職をしました。

何とか早く手に職をつけ、家計を助けたい、必死でした。

今と違ってもたもたしていると、言葉はもちろん、横から、上からヘラとか道具が飛んできます。

朝は朝星、夜は夜星、お弁当のつめ替だけに帰る日々でした。

一心不乱に仕事に打ち込み、10年勤め25才に結婚その1年後家内と2人で家の横に小さな焼付塗装の工場を始めました。

何しろ小さな炉が1つしかないで納期があるため週に何度か徹夜もやりました。

米田の方でも作業をしてましたが、少し手狭となり、2つをまとめた方が作業効率も良いため日笠山の下に昔の紡績工場の200坪程の建物が借りられたので内外部の改装、配線のやり替、機械設備の搬入を終え3月中旬より作業を始め、広がったので仕事量がこなせてよかったと思った矢先、昭和54年5月23日夕方6時30分過私共の工場から出火わずか2ヶ月の稼働で、多額の設備投資をした工場は何もかも見事に灰になりました。

これまでも不況、オイルショック他数々の試練はありましたが、この時ばかりは神をうらんだ様に思います。

しかし、多くの人々からの励ましの言葉、世間の思わぬ暖かを受け、火災の後かたづけとか、JCメンバーの方々、親せき、知人の方々による心よりの御奉仕と友情に支えられ、皆様の御支援のもと、新工場の建設のめどもつき、この多くの皆様から受けたご恩にどうお応えすればよいのか、お世話になった方達に直接お返し出来ないけど、私達で役に立つことがあればどんな事でもしよう、同じ頃あすなろ学園の社会復帰で当社で1名雇用していたので、その親から自閉症の親の会の助けになってほしい、それ以来親の会の人達と共に応援団として、かわり38年になります。高砂青松RCのメンバーの皆様にも永きにわたり、あかりの家後援会に暖かい御支援と御協力を頂き感謝の念で一杯でございます。

お陰様であかりの家も関係各位の深いご理解のもと1法人8施設の時代を経て、今では兵庫県地域を代表する自閉症支援の専門施設となりました。

もう一方の障害者の働く工場であるワークホーム高松も指導員15名、障害者40名の人達が毎日汗を流して頑張っております。

微力ではございますがもう少しこの子達のために働きたいと思っている毎日です。



卓話者
柿木 國夫会員

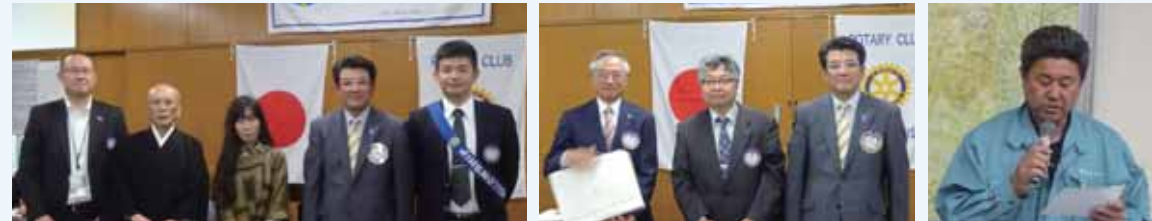


例会記録 2018.4.25 (水) 通算 1886 回
 例会記録 2018.5. 2 (水) 通算 1887 回

ソング 「君が代」「奉仕の理想」
 出席報告 4月18日 会員数44名 欠席者 1名 出席率 97.30% (修正による)
 (この内出席免除者 11名)
 5月 2日 会員数44名 欠席者 8名 実出席者数 37名
 (この内出席免除者 11名) 出席率 77.78%

来訪ロータリアン 脇谷 政孝会員 (高砂 R.C.)
 (4月25日分)

誕生祝 青木 裕加会員 西田 光衛会員 結婚祝 内海 薫会員 佐野 栄作会員
 入江 啓太会員 都倉 達殊会員 西中 亮二会員 阪本 徹也会員
 阪本 徹也会員



幹事報告 Secretary

幹事報告 第37,38回 (通算1768回)

1. 地区より
 - (1) 第2680地区ローターアクト第40回地区年次大会の案内が届いています。
 - (2) 台湾東部地震被害支援への協力御礼が届いています。義援金として2680地区より総額2,488,141円が被災地区である3490地区へ送金されました。
 - (3) 神戸まつりポリオ撲滅パレードへの参加依頼が届いています。5月20日(日)13:30~16:00 参加希望者は事務局にお申し出下さい。
2. 高砂市より
高砂市国際交流事業への協力のお礼が届いています。次週、回覧します。
3. 高砂市国際交流協会より
総会および講演会の開催の案内が届いています。次週、回覧します。

幹事報告 Secretary

幹事報告 第39回 (通算1769回)

年度も終わりに近づいてきたためか、The rotarian 以外の配付物が無く、特に報告はございません。

先週まで会議所での例会が連続で移動であった間の報告は、今週回覧させて頂いています。

5月13日の周年事業が間近に迫り準備におわれ、お忙しい事と思いますが、まだ次週5月9日は例会があり、理事・役員会がございますので出席宜しくお願い致します。



委員会報告 or その他連絡事項 et cetera

4月25日(水)

委員会記録

地区より青木会員に委嘱状(規定審議会委員)が届いています。

社会奉仕委員会 村上委員長

献血 受付人数 95名



委員会報告 or その他連絡事項 et cetera

5月2日(水)

- ◇5月27日(日)
高砂RCとの合同ゴルフコンペのスタートが遅くなりました。9:38分です
- ◇6月23日(土)
創立記念例会は味処いりふねで開催します。
- ◇40周年記念版画の締め切りは5月末です。



近隣クラブINFORMATION Neighbor-club information

クラブ名	変更内容	日時・場所
加古川中央ロータリークラブ	例会変更	6月21日(木)12:00→18:00に変更(最終例会のため)
	休会	6月28日(木)

(注)高砂青松ロータリークラブのホームページにも掲載しています。……ホームページの情報の方が早く把握できます。

高砂青松ロータリークラブ

通算	第495回
2017～2018	第11回
日	平成30年4月25日
場所	市ノ池公園大会議室

出席者

都倉	○	坂口	○	川崎	○	小西	○
大橋	○	中谷	×	村上	×	青柳	○
青木	○	濱田	○	松下	×	矢野	○

40周年実行委員会

西中	○	庄司	○	澤田	○	濱中	○
三枝	○	佐野	×	櫻井	○	砂川	×

会長挨拶： 都倉会長

議案事項：

1. 高砂青松ロータリークラブ 40周年記念事業について……………承認
2. MOEロータリークラブ来訪について……………承認
3. その他
 - 6月13日(水) → 6月23日(土) 最終例会 いりふね(東加古川)
 - 6月20日(水) 会長・幹事・ガバナー補佐退任挨拶

ニコニコ報告 Donation

柿木 國夫

本日卓話をします。久しぶりに昔を忍びたいと思います。
よろしくお祈りします。

京谷 慎平・小西 文孝・田中 伸明
庄司 武・櫻井 宣孝・吉川 弘
坂口 嘉久・青柳 淳・大橋 卓司
矢野 聡・村上 則宏

柿木会員の卓話楽しみにしています。

濱田 喜重

大橋次年度会長以下次年度役員の皆さん、先日の地区研修・協議会及び食事会おつかれ様でした。

中谷 利幸

先週は勝手致しました。誕生日のお祝いの品送って頂きありがとうございます。先日森脇先生にお世話になりました。お陰で安心致しました。

都倉 達殊・西田 光衛・阪本 徹也
入江 啓太・青木 裕加
誕生日お祝い有難うございました。

内海 薫・佐野 栄作
結婚記念日の御祝ありがとうございました。

砂川 仁史
花をかざりましょう。

伊藤 勝之
早退致しますので。



創立40周年記念植樹例会

平成30年4月25日(水)

4月25日(水)、市ノ池公園に登幸人市長を迎え、高砂青松RC創立40周年植樹が行われました。



◆ プログラム予定 ◆

5月9日(水)

新旧合同委員会
(引継例会)
理事会開催

昼食メニュー
洋食弁当

5月13日(日)

創立40周年記念講演会
「金村義明氏トークショー」
於：高砂市文化会館
式典・祝宴
於：ウェディングパレス鹿島殿

5月23日(水)

クラブ協議会

昼食メニュー
おろしそばといなり寿し

5月30日(水)

各委員会報告

昼食メニュー
幕の内弁当

利他に生きる

「人」という字は、人は人によって支えられている存在であることを示している。事実、この世に一人で生きている人は一人もいない。人は皆、利他の心によって生かされているのである。利他の心は人間が生きていく上での必須条件といえる。

孔子は仁(思いやりの心)を説き、釈迦は慈悲を説き、キリストは愛を説いた。ともすれば利己に染まりがちな心の是正をすべく、人間存在の本質は利他にあることをその一語で端的に示したのだろう。

我が国にも利他に生きた人が沢山いますが、二宮尊徳もその一人です。尊徳はこう言っています。「人間の体の組み立てを見なさい。人の手はわが方に向けてわが為に便利にできているが、向こうに向けて押してやることもできるようになっている。鳥獣の手はこれに反して自分の方へ搔くことしかできないようにできている。だから、人たる者は他の為におし譲るといふ道があるのだ。それを自分のために取りることばかり努力して、他のために譲ることを忘れてしまった者は、人にして人にあらず、きん獣と同じである。ただ恥ずかしいだけではなくて、天理に反することであるから、ついには滅亡するだろう」

利他の心を説いている稲盛和夫氏は次のように言われています。

「心に描いたものは必ず具体化していく。よりよい人生を生きていくためには、心を綺麗にして善きことを思い描くことが非常に大事だと」

「人は得てして、恵まれた環境にあっても、与えられた仕事をつまらないと感じ、不平不満を口にしがちです。しかし、それで運命が好転するはずはありません。与えられた仕事を天職と思い、その仕事を好きになるように努力していくうちに不平不満は消え、仕事も順調に進むようになっていく」

86歳の稲盛さんにとって人生で一番大事なものは何だと感じられていますかという質問に対して、一つはどんな環境にあっても一生懸命生きること。もう一つは、人間は常に「自分がよくなりたい」という思いは本能として持っていますが、やはり利他の心、皆を幸せにしてあげたいということ強く自分に意識して、それを心の中に描いて生きていくことです。

遺伝子の研究者である筑波大学名誉教授の柳沢嘉一郎氏は、地球上に現存する多様な生物は、すべて進化論の自然淘汰説によるとすべての生物の遺伝子は皆利己的で、利他的なものは淘汰されて存在しないことになる。私たちの社会に見られる利他的な行為は遺伝子によるものではなく、環境、すなわち教育や躾などの結果によるものであろうか。本当に利他的な遺伝子は存在しないのでしょうか。柳沢教授は、地球上に初めて生命体が誕生したのは38億年前であると推定されていますが、今、私たちが目にする生物たちすべて、長い間、過酷な環境に耐えて「自分だけはなんとしても」と頑張ってきた子孫なのです。利他的であればとうに淘汰されていることでしょう。

それは動物が群れをつくるようになったこと、特に人ではさらに複雑な社会を形成するようになったことと関連していると考えられます。人の行動の基盤は脳の神経回路網にあると言いましたが、回路網は不変ではなく環境によって変化します。

そして、特に環境の変化を受けやすい時期は、胎児期と乳幼児期、そして思春期です。特に思春期は人が社会の規範を意識し、他人との関わり方を学び、生き方を考えるようになる時期です。そしてその時が人生で利他性の回路を形成する最も大切な時期とされています。それは先般行なわれた冬季五輪における若い選手たちの発言にも見て取れました。

メダルを手にした選手たちが一様に、これは自分の力というより支えてくれた周囲の人達のおかげですと謝意を述べていた、あの感覚です。

社会の変化は止められずはずもなく、最近では人間関係が疎遠になってきているといった見方もあります。しかし、どのような社会になろうとも、人が住みやすいと感じるのは、利他的な行為が多く表れている社会だと言えるでしょう。

やはり利己性と利他性の適切なバランスをとることが大切だと思います。

